



平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地区コミュニティ推進協議会  
 会長名 西岡 啓治

記

以上

事業の名称	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	地域の市民レクリエーション住民大運動会は盛大に行われていたが、昨今の厳しい状況から、運営補助金として活用し、コミュニティ活動の充実に努む。
事業実施後の状況	住民大運動会は、地域の1000名を超える人達の参加で、毎年盛大に行われている。今回の補助金は、大会プログラム印刷代金の一部補助に活用した。
事業の効果	地域のスポーツ振興会等が主催する事業を支援することで、スポーツ意識の向上に努め、その成果は大である。
今後の課題等	大会の運営事業費の多額とは、地域の皆さんからのプログラム広告収入に頼っているが、昨今の厳しい状況から、今後ともコミュニティ協議会の支援活動が必要である。

2012年3月31日

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

会長名 西岡 政治



### 事業評価書


事業の名称	子どもの安全に対する事業
事業実施前の状況	地域住民（主に高齢者）が、石橋小学校の通学児童のボランティア見守り員として朝、通学路6ヵ所での交差点に立って交通整理等を腕章と小旗で行っているのが児童、見守り員共の安全対策と考えた。
事業実施後の状況	事業内容は、見守り員が着用する赤色のウィンドウブレーカを購入した。通行誘導の実施状況が容易に出来るようになった。
事業の効果	特に通称池高通りは中・高生の通学、通勤者、車両が入り混じり絶え間なく道幅一杯の通行量であるが、一般通行人との区別が明確になり、交通誘導がスムーズで道路横断に協力的になった。 ウィンドウブレーカ左袖に「池田市地域分権」と背中には大きく「石橋地域コミュニティ推進協議会」と「石橋小学校」を刷り込み双方のPRも兼ねて住民に浸透されてきた。
今後の課題	見守り員の高齢化により新規参加者を増やすことと安全を図る交通整理の小道具（誘導棒、笛等）類を揃えたい。

以上

2012年3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会  
会長名 西岡政治 

記

以上

事業の名称	リサイクル活動事業
事業実施前の状況	ペットボトルキャップの回収リサイクルと、資源の有効利用を図ると同時に、住民意識を高める。 指定容器を校区6ヶ所に配置収集する。
事業実施後の状況	資源回収の意識が増大。指定容器配置8ヶ所によるキャップ分別作業と集込作業に依頼。キャップ回収量に依りて年度未集計シタ容器を渡した。
事業の効果	今までゴミとして捨てられていたキャップ(PP,PE)がゴミとして住民にわたることで、資源の回収意欲が高まってきた。
今後の課題等	容器配置場所の拡大と広報活動の充実。 一ヶ所に集め回収の効率化を図る。

要式第4号

2012年3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニケーション推進協議会  
会長名 西岡政治



記

事業の名称	子供と高齢者との協働作業に対する事業
事業実施前の状況	近年、子供たちはゲームなど家の中であそぶ事が多く、友達と、自然の中で物を作ったり食べたりして遊ぶ事が少なくなっている。一方、高齢者はいろいろな物作りや知識を持っているが、子供たちと接する機会が少なく、協働で作業することは出来ないかと考えた。
事業実施後の状況	地域住民にむかしあそびを呼びかけ、校庭や体育館で、竹細工、紙鉄砲、竹笛、ゴム鉄砲、ストロー飛行機などを教えてもらい、ともにあそんだ。一方、会員と地域住民で焼き芋とフライドポテトを作った。
事業の効果	子どもたちは自然のものをおもちゃにするという不思議さに目を見張り、地域住民、高齢者も昔を思い出し、子育てや今昔の暮らしぶりを話あいながら地域コミュニケーションを深めた。一緒にあそんだことにより地域の人たちと子供たちの距離が近づいた。
今後の課題	いろいろなイベントを催し、地域のコミュニケーションを広げたい。

以上

2012年3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会  
会長名 西岡政治



記

以上

事業の名称	道路安全対策事業
事業実施前の状況	地域住民・児童の登下校時の安全を図る。 ①セーフミラーの設置(井口堂田地南) ②阪急バス車庫内の市道部分のグリーンパルト化
事業実施後の状況	①井口堂田地より街道T字路に両面ミラー設置 ②阪急バス社・地域住民との協議で東側、片方のグリーンパルトの歩行帯設置
事業の効果	地域住民の安全・安心の意識向上と自動車運転手等に安全意識を持たせる。
今後の課題等	歩行者、自転車車の安全通行リマナーを呼びかけていく。

<様式4号>

平成23年 10月23日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域工友会推進協議会  
代表者名 西岡政彦



記

事業の名称	交通安全モラル教室（自転車の運転等）
事業実施前の状況	石橋校区内では石橋小学校で3年生を対象に秋に自転車の安全教室が、石橋文化幼稚園で同じく入園時に自転車の乗り方や危険について講習が実施されています。自転車競技として11月に宣真高校で、住民対象に行事があります。
事業実施後の状況	今回、親と子どもが一緒に参加して自転車の安全教室をとの趣旨で交通安全教室を開催いたしました。石橋小学校の体育館と校庭をお借りしました。体育館では池田警察署の方からビデオで自転車事故の実例の紹介、自転車も危険である乗り物であることを教わりました。校庭では、ヤマト運輸さんが持ち込まれた自動車を使って自転車との接触事故を体験しました。参加者は目の前で事故を見て自転車事故を実体験し、恐ろしいのがわかりました。
事業の効果	今回は100名ほどの方が参加しました。今回の目的が親と子どもの参加というところにおきました。そこそこ参加いただき初期の目標はクリアできたと思います。最近でも自転車事故が多発しています。皆さんが自転車についての危険の認識を深めていただくと共に正しい乗り方のマナーをも身につけてほしいです。同時に自転車に楽しく乗ってサイクリングもしてほしいです。
今後の課題等	たかが自転車という意識はなかなか払拭できません。このような教室では是非とも意識改革をしてほしいものです。石橋小学校では最近交通安全子供自転車大阪府大会に参加された実績があります。競技を通じて自転車を楽しむ行事です。この企画とドッキングできればと考えます。石橋小学校も一緒に希望されていました。実現できればと思います。いかに取り組むかです。

平成24年3月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 西岡政治



### 記

事業の名称	公園整備事業
事業実施前の状況	市と協働で立派な公園に作り上げるという「石橋公園」。 予算の都合上、単年度に出来なかった「ベンチの増設」と古くさびていた「外周柵のやり換え」。
事業実施後の状況	シロフォンベンチを5台。うち2台を藤棚のしたに設置。非常に雰囲気もよくマッチしている。 外周柵は公園自体のメリハリが利いている。
事業の効果	ベンチの数としては、旧のベンチも残して利用しており、いくつ有っても多すぎと言う感じでなく、地域住民に喜ばれている。 外周柵は黒色にしたのが良く、特に道路と接している部分は、通行人にとっても、安全で、全体像を見るのにも公園の場所も解り易くなった。
今後の課題等	公園整備事業としては3~5年計画で整備していく予定です。 2年経過したところですが、地元住民の利用者等の意見を聞きながら予算との兼ね合いも見ながら整備を進めていく。

<様式4号>

平成23年 10月23日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域132-ア推進協議会  
代表者名 岡 政 文



記

事業の名称	ガーデニング教室の開講
事業実施前の状況	初年度の平成20年6月に「やさしい花づくり」、11月に「ハンギングバスケットの作り方」、昨年5月に「楽しいハーブの育て方」、10月に「種から育てる秋まきの草花」のタイトルで今まで4回実施しました。今まで親しみやすく楽しかったと好評でした。
事業実施後の状況	今年は6月に「体と心に癒しの寄せ植え教室」、10月に「お部屋に癒しの苔玉教室」の名称で2回実施しました。トータル4年間で6回となりました。今回の講師は当部会員の鈴木さんをお願いしました。鈴木さんは園芸セラピー認定講師でもあります。土作りから入り今回も身近なことが学べられて楽しい寄せ植え教室でした。参加者の方々も熱心さの中にも楽しさが感じられて終了しました。
事業の効果	6回ともなり毎回参加して下さる人もあり、またその人が知り合いの方や、友人を誘っていただいたりで大きな輪の広がりができてきているなあと感じています。また掲示板で見たとあって近隣の方も参加されるケースもでてきました。まだまだ深い園芸の世界ですので今後も継続的に実施できればと思います。
今後の課題等	今年2回は参加された方から受講料をいただきました。教材費として一部を負担していただいたわけですが、皆さん方よく理解くださり、作ったものをいただいてかえるのだから当然とおっしゃっていただきました。今回は6月40名、11月が43名の参加でした。よく参加いただいていると思います。若い主婦の方も参加していただければとの思いがあります。



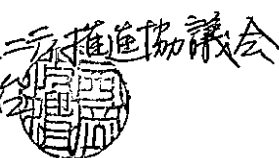
<様式4号>

平成23年10月23日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域環境推進協議会  
代表者名 西岡 政治



記

事業の名称	小・中学校・公共施設等案内表示板設置事業
事業実施前の状況	石橋校区の中で国道171号の箕面から池田に抜ける高架橋と国道176号とは阪急バス車庫付近で交差しています。その交差点から北に伸びる池高道には通りに石橋小学校、石橋中学校、石橋保育所、敬老会館、池田高校などの公共施設があります。今まで残念ながらそれぞれに表示板がなく通行人、車の利用者が該当の場所を探すのに不便をかこっていました。
事業実施後の状況	今回石橋小学校に入る交差点付近と石橋中学校に入る石橋公園付近に案内表示板の設置を考えましたが、予算面で1箇所となり石橋公園付近に設置することになりました。池高に行かれる方と池高から下りてこられる方の便宜を考えて両面に案内方向を記入しました。池高道を上がって来られる方に次のように表示しました。右に石橋中学校、石橋保育所、真っ直ぐに敬老会館、池田高校です。
事業の効果	案内表示板の色はブルー地に白で抜きました。高さは通行に支障のない規定の3メートル以上にしました。案内板の大きさも横90センチ、たて30センチで適当な大きさです。それぞれの施設に設置の説明と設置後の説明をしょくしていただいたと感謝されました。また通行の方にもよくわかると評価していただきました。
今後の課題等	石橋小学校への案内表示板の設置がほしいところです。また阪急バス車庫付近と阪急電車石橋駅東口を出てきて国道176号に突き当たる付近にもあればと思います。このほかにも数箇所に心当たりがあります。樹木の茂るところに設置していますので、暗くなってわかりにくくなる時がでてきます。維持管理が必要になってくると思います。なお事業を今後も続けていただければと思います。

平成24年3月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 西岡政治



### 記

事業の名称	街路灯強化事業
事業実施前の状況	石橋小学校校区内を、夜中に巡回してみますと、毎年度行っている事業にもかかわらず、やはり、照度不足のところがあります。
事業実施後の状況	今年度は、旭丘3丁目を中心に地元の方も一緒に夜中に巡回しました。予算内で6箇所の照度アップを図ることが出来ました。
事業の効果	特に池田高校周囲は、防犯上も明るくなったことにより、安心・安全を図ることが出来ました。
今後の課題等	石橋小学校校区内いまだに、暗くて危険な箇所がありますので、地元の方ともよく相談の上、改善していく必要がある。

<様式4号>

平成23年10月23日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域環境推進協議会  
代表者名 西岡政治

記

事業の名称	掲示板の設置
事業実施前の状況	既設分 H. 20年度7台 H. 21年度7台 H22年度3台 当地区には他に、社会福祉協議会で8ヶ所、自治会で4ヶ所、池田市と大阪府の団地の掲示板が2ヶ所設置されています。
事業実施後の状況	今年23年度に次の3ヶ所に設置しました。 ①、石橋公園西側入口付近（池高道万寿荘近く） ②、井口堂2丁目旧花園団地付近 ③、旭丘3丁目池高プール付近 4年間で計20台を設置しました。 内訳 120センチ幅 16台 180センチ幅 4台 ほぼ各町内平均して設置ができました。
事業の効果	掲示物の役割を果たしつつあると思います。今年度は次のような内容を掲示しました。 ○ 石橋小学校新聞 ○石橋中学校行事案内 ○老人大学いけるキャンパスの案内 ○石橋地区スポーツ振興会の行事の案内 ○コミュニティーの行事の案内 ○池田警察署の防犯の案内 ○民生委員協議会の周知案内 ○住民座談会の案内など
今後の課題等	コミュニティーの広報新聞と池田市の広報とも合わせて相乗効果が出ればありがたいです。地域広報活動の拠点として活躍してくれると思います。4年間で20台が設置できました。社会福祉協議会の掲示板が老朽化しているものもありその跡にも設置したいとも思います。あと地域のバランスをみて24～25年度の2年間で5台ぐらいの設置を目標としています。24年度は2～3台の予定です。

平成24年3月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 西岡政治



### 記

事業の名称	地域防災体制強化事業①
事業実施前の状況	石橋小学校地域には、なかった「自主防災会」が、石橋2丁目、井口堂1・2・3丁目、旭丘3丁目合同で「石橋自主防災会」が、コミュニティの安全部会の中に組織化された。 何も無い中での発足であった。
事業実施後の状況	4地域合わせて、1500軒を越える参加を数えた。 防災備品を揃えていく上で、各地域1個の防災倉庫を設置いたしました。 ①石橋北会館②井口堂北会館③旭丘会館④石橋公園の4箇所。
事業の効果	石橋小学校、井口堂北会館等に分散して預かってもらっていた、防災備品を収納する事が出来、各倉庫の表扉に「石橋自主防災会」と明記したことにおいて地域住民が改めて認識する事が出来た。
今後の課題等	倉庫としては、初期の段階から要望されていた「井口堂団地」内に1個小ぶりの倉庫を設置する事です。(今回は予算の関係上断念)

平成24年3月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 西岡政治




### 記

事業の名称	地域防災体制強化事業
事業実施前の状況	①石橋北会館、②井口堂北会館、③旭丘会館、④石橋公園の4か所に防災倉庫を設置しました。
事業実施後の状況	地域コミュニティの安全部会として200万円の予算を計上して、それが認められ上記の4か所の防災倉庫に防災、減災を目的として防災用品を購入して納入を終えた。尚、4か所の備品目録も作成して管理をも図っています。
事業の効果	防災倉庫設置場所の管理責任者、および安全部会員を始めとして地域住民にも防災・減災と危機管理に対する取り組みへの意識付けが防災備品を活用しつつ防災訓練を行うことで徐々に浸透していくことを期待しつつ取り組んでいきたい。
今後の課題等	今回は安全部会員を中心にして防災用品を取り揃えたが、今後は女性、高齢者、乳幼児をお持ちの父兄等、幅広い層の意見もお聞きしつつ有効利用出来る備品の拡充を図っていかるとともにいざというときに実行、活用出来る体制を構築していくことが重要と考えます。

H24年 3月 30日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会  
代表者名 西岡政彦 

### 記

事業の名称	コミュニティ紙等発行事業
事業実施前の状況	地域コミュニティ推進協議会の活動内容を広く地域住民にPRするため、広報誌を発行する。
事業実施後の状況	23年度は、年3回の発行を行ないました。
事業の効果	広報誌に池田警察署の防犯発生状況を載せることで、地域の防犯意識を高めることが少しでも出来た。
今後の課題等	広報誌の紙面を見直し、よりわかりやすく、効果が高められる様に色々の工夫をする。

平成24年3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会  
 会長名 西岡 政治

記

以上

事業の名称	昔つかい 紘史君さん
事業実施前の状況	石橋公園 静棚下の整備。地域にチラシ配布 くじ引き景品の準備。柏子木と近隣をわり アルファ米の場わけ器揃え。 住人に呼びかけ。
事業実施後の状況	家の中が干ばと違い、大勢で見守る初め29日 紘史君に、子ども大人を含め210名に喜んでいたこと (お父さんの参加が特に嬉しかった)。非常用アルファ米 違い、一般の方の手を貸した。おにぎりにも食いついてくれた。
事業の効果	アルファ米の食生活に、迎田市の備蓄用アルファ米の 存在を知りやすくなった。 ・ 紘史君を通じ、親子のつながりの時間をもつた。
今後の課題等	雨天時の場所の確保。

H24年 3月 23日

### 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 西岡政治



#### 記

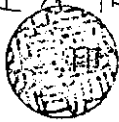
事業の名称	地域イベント備品等の整備事業
事業実施前の状況	地域大運動会で使用していた万国旗が大変古く、ビニール製のため破れたり、国旗が欠けたりして見栄が悪くなっていた。
事業実施後の状況	地域大運動会で使用し、万国旗が以前の物より丈夫に見やすく、又布製で雨に破れにくく取扱が良くなり、旨味には大変よくなりました。
事業の効果	○万国旗が今迄より丈夫になったので、大変見やすくなった。 ○布製になったので、取付け、取外し時、破れなくなった。 ○運動会を大変盛り上げる事が出来た。
今後の課題等	地域レクリエーションの備品等の老朽化が進み、今後も少しずつ更新して、各レクリエーション行事を盛り上げて、参加者の笑顔を行いたいと思っております。



平成24年3月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会  
代表者名 西岡 政治 

記

事業の名称	AED設置事業
事業実施前の状況	石橋校区内の会館にAEDの設置が1ヶ所(井口北会館)のみで他の会館にはまだ設置がなかった。
事業実施後の状況	石橋北会館にAEDを設置する事が出来た。緊急時の使用が可能になった。
事業の効果	利用客も多く、人の出入が多いので緊急時の対応が早急に出る。
今後の課題等	校区内の各会館にはまだ設置を完済して、緊急時の対応に万全出来る様に行きたい。

平成24年2月3日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域ユニティ推進協議会  
会長名 西岡 政海

記

以上

事業の名称	地域行事等活動促進事業
事業実施前の状況	地域の納涼大会は、盛大に行われているが、昨今の厳しい状況にあり、運営補助金として活用し、ユニティ活動の充実を図る。
事業実施後の状況	島内漁水会は、地域の各種からしイベント(11団体)に実行委員会を構成し、運営しているが補助金は大会のラン印刷費の一部補助として活用した。
事業の効果	昨今の厳しい状況から、運営資金面の確保に苦慮しており、事業の効果は大である。
今後の課題等	地域(納涼大会)の年1回の恒例行事が3000名以上の参加をいれているが、協賛金(プロダクトの広告費等)等、運営資金の確保が難しくなる。ユニティ協議会のバックアップが必要。

絶大望